

第 3 学年 道徳学習指導案

- 1 主題名 規則の意義と現実的対応
- 2 内容項目 C 順法精神・公德心
- 3 資料名 「二通の手紙」
※『私たちの道徳』140 ページ～145 ページ
「東京ディズニーランドでの出来事」
※山田真『ディズニーランド流心理学「人とお金が集まる」からくり』三笠書房の文章の一部を引用
・資料の他に用意するもの：A4 判大の紙、ペン、マグネット
- 4 ねらい（視点）
法やきまりの意義を理解し、遵守しようとする大切さを認識するとともに、法やきまりの意義を踏まえつつ、状況によっては現実的対応をすることの意義を認識する態度を育てる。

5 本時の展開

| 時 | 主な学習内容・活動 | 評価・留意点 |
|----|--|--|
| 導入 | 1 今日の授業のテーマを提示し、確認する。 ○今日は、「きまり」のあり方について考えていきます。 | ・「きまりは大切なものであり、守るべきものだ」という前提を確認する程度 |
| 展開 | 2 資料「二通の手紙」を読む。 ・教師による範読 3 元さんの行動について振り返る。 ○元さんがどうすべきだったか、考える。 →「ワークシート 1」に書く。 ・姉弟を入れない：規則に則って対応する。 ・姉弟を入れる：他の職員に相談、協力を要請する。母親に連絡を取る。 など 4 元さん、姉弟の双方に益のある方策を考える。 ○発問：「元さんが懲戒処分にならない」「姉弟が満足することができる」の2つを両立させる方法を考えよう。 ※参考として、東京ディズニーランドの事例（資料）を紹介する。 ・教師による範読 ・「ワークシート 2」に記入する。 ・4人グループ（3人のグループができて可）で交流・検討し、「これが最もよい案」を出させる。 →「案」をA4判大の紙に書かせる。 ・各グループの案をグループの代表者が発表する。 →A4判大の紙を黒板に掲示する。 | ・「心情的には、元さんの行動はわからなくはない。しかし、規則からは外れているし、他の職員に迷惑をかけてしまっている」「姉弟を入れてしまうことで、他の客との間に不公平感が生まれる」点を押さえる。 ・東京DLの事例と違い、「姉弟の安全を保障する必要がある」ということを押さえ、考えさせる。 ・時間を確保する。 □「元さんが懲戒処分を受けず、姉弟が満足する」案を自分の中で考えることができたか。 →交流の様子、ワークシートの記述をもとに評価する。 |
| 終末 | 5 今日の授業を通じて考えたことを「ワークシート 3」に書く。 ○記述の観点：「二通の手紙」を読んでの感想、各グループの「案」のなかで「これがいい」と思った案とその理由、さらによい案がないか、など | ・5行以上書かせる。 →記述の量・内容を評価につなげたい。 |

「二通の手紙」

年 組 番 氏名

1 あなたはどう考えますか。

どうすべきだったか

その理由

2 あなたのアイデアを書きましょう。

プランA

おすすめ度： 位

プランB

おすすめ度： 位

(裏面に続く)

○プランC

おすすめ度： 位

○プランD

おすすめ度： 位

3 感想を書きなさい。（5行以上書くこと）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

検印

□